

令和2年度 自己評価結果公表シート

蛸ノ浦保育園

1、 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性	・保護者との関わりが難しい時代になり、気になる子への支援と共に親への支援の勉強も継続している。
Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり	・熊の出没で山や遠出の散歩に行けず残念。また、コロナのために例年実施している地域のお年寄りとの交流会も中止、敬老会も中止で不参加。
Ⅵ 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・コロナ禍において、オンラインやリモートでの研修が殆どで遠くに出かけずとも研修に参加できた。園にいて複数が視聴できたのもよい。 ・キャリアアップ研修を今年度も1名が修了（四単位）
Ⅷ 地域における子育て支援	・来園された方が心地良い場所であるように、全職員が子ども達と一緒に明るく挨拶したり、声をかけたり園に入りやすい雰囲気作りを心がけている。 ・下校後の小学生に園開放している。

2、 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和2年度は新型コロナウイルスの発生により、年度当初から緊急事態宣言発令で登園自粛になった。普段とはちがう新しい生活様式となり、行事の縮小や中止など子ども達（家族も含め）にとっては寂しい年だったが、安全に十分考慮し出来る範囲での活動は行えたと思う。そういう意味では毎日をゆったり過ごせたのではないかな。また、大きな事故や怪我も無く保護者、家族からの苦情もなかった。

3. これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
II 保育の在り方・ 幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は以上児2クラスでスタートしたが、途中(12月)から混合での1クラスに編成した。支援を要する子が数名いて、担任、副担任が中心となり、職員全員でフォローしていった。コロナ禍で行事等も制限されたが、1対1の関わりや指導が必要なので、今後も共通理解のもと、対応する。人数が少なくなり子どもたちが自ら意欲的に取り組む活動を工夫し計画したい。
IV 保護者への対応・ 守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は気になる子の親との個人面談やにこにこ相談(専門の先生も交えて)への参加が積極的にできた。保護者が理解し、自ら保育者に相談するケースもあり専門機関とのつながりができたので継続していきたい。
VI 保育の専門性に関する 研修・研究への意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修は必須なので、それぞれ受講者は意識を持ち参加している。(会議で報告) ・普段は研修に出ない、給食担当や保育補助もオンラインの視聴ができた。
IV 保育の在り方・ 3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から11月まで0歳児が在籍なしで、12月に2名途中入所し、クラスを分け保育した。1,2歳児と一緒にあそぶ時間、スペースを設け次年度への移行がスムーズにできるよう配慮、また、保育士間の連携も密に申し送りをする。 ・小さい子特に0歳児は保護者も不安があるので、家庭と園の様子を伝え合い、安心して預けてもらいたい。